

今回は、小宮一慶さんの“Good は Great の敵である”という話を紹介します

“Good は Great の敵である”とは、そこそこ良い状態であると、そのことに満足して向上心がなくなり、せっかく Great になることができるチャンスがあるにもかかわらず、Good な状態で終わってしまうということです。この Good と Great の差が一人前と一流の差ではないかなという気がしています。

私は「一人前と一流は違う」という言い方もしますが、よく似た趣旨です。一人前というのは厳しい言い方をしようですが、二流です。食べるにはそこそこ困らないけれども、人からはすごいとは認められない状態です。もちろん、これは価値観の問題ですから、別に一流や Great にならなくてもよいと考えるのも私は否定しません。

しかし、私は自己実現とは「なれる最高の自分になること」だと考えています。なれる最高の自分になろうとしないことは、本人にとってももったいないことですが、属する組織や社会全体にとってももったいないことだと思います。自己実現するためには何をしなければならないかという、私は、二つあると考えています。

ひとつは、目の前にあることに一生懸命になる習慣を持つことです。ビジネスマンなら目の前の仕事とにかく精一杯取り組むこと。そして、まだやれることがあると考えて、さらに徹底することです。中途半端なことをやっていると、実力は上がりません。全力を尽くしていれば実力は少しずつですが必ず上がっていきます。

もうひとつは、目標を持つこと。短期的な目標でもよいから、目標を持って、そのために、上で述べたオンザジョブで全力を尽くすとともに、オフでも自分の将来のために本質の勉強を少しずつでも積み重ねていくことが大切です。目標を持たないと、毎日が全力でもなれる最高の自分になれるかどうかは分かりません。「散歩のついでに富士山に登った人はいない」のです。必死に散歩しているだけでは、富士山には登れないのです。どうせ努力するなら方向を間違わないことです。そのためには月間目標を立てることを薦めています。そして、その目標の先に「目的」、つまり自分の存在意義が見つけ出せれば最高です。

1) “Good は Great の敵である”とは？

(

)

2) 一人前とは？

(

)

3) 自己実現とは？

(

)

4) 自己実現するために、しなければならないことを、二つあげてください

(

)

(

)

5) 努力する際に方向を間違わないためには、どうすれば良いですか？

(

)



(社員教育用)